



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月2日

上場会社名 日新製糖株式会社
 コード番号 2117 URL <http://www.nissin-sugar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 森田 裕
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3668-1293

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	38,904	1.1	2,678	6.1	2,918	1.3	1,848	44.5
27年3月期第3四半期	38,471	△4.6	2,524	△1.6	2,881	1.8	1,279	△27.4

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 1,573百万円 (2.0%) 27年3月期第3四半期 1,542百万円 (△22.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	251.13	—
27年3月期第3四半期	173.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	58,620	49,715	84.8
27年3月期	58,541	48,584	83.0

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 49,715百万円 27年3月期 48,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				期末	合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00	
28年3月期	—	0.00	—			
28年3月期(予想)				52.00	52.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※当社は、平成28年3月1日を効力発生日として、1株につき3株の割合で株式分割を実施する予定であるため、平成28年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しています。なお、株式分割を考慮しない場合の平成28年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金は155円00銭であり、前回予想からの実質的な変更はありません。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	0.5	3,000	5.5	3,100	△5.8	1,900	16.1	86.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成28年3月1日を効力発生日として、1株につき3株の割合で株式分割を実施する予定であるため、平成28年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した金額を記載しています。なお、株式分割を考慮しない場合の平成28年3月期の1株当たり当期純利益は258円13銭です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 日新カップ株式会社

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	7,557,961 株	27年3月期	7,557,961 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	197,594 株	27年3月期	197,169 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	7,360,615 株	27年3月期3Q	7,360,920 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式分割後の配当および配当予想について)

当社は、平成28年3月1日を効力発生日として、1株につき3株の割合で株式分割を実施する予定です。そのため、平成28年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金および平成28年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については株式分割を考慮した金額を記載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済につきましては、円安基調の持続や原油安等を背景に大企業を中心とする企業収益や雇用環境は堅調に推移しましたが、依然として個人消費は力強さを欠く状況にあります。

海外原糖市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限)において1ポンド当たり12.00セントで始まり、タイ・インドでの砂糖生産量の上方修正等を背景とした世界的供給過剰感やブラジル通貨レアル安の進行等を材料に下落に転じ、8月後半には今期安値となる10.13セントをつけました。その後、主要生産国の天候懸念に加え、ブラジルの旺盛なエタノール需要による砂糖生産減少等から、2015/16砂糖年度の生産が6年ぶりに消費を下回るとの見通しが強まり、12月前半には今期高値となる15.85セントまで上昇し、15.24セントで当第3四半期を終了しました。また、国内精糖市況(日本経済新聞掲載、東京)につきましては、上白糖1kg当たり185~186円で始まりましたが、海外原糖相場下落を受けて10月に183~184円に2円下落し、当第3四半期を終了しました。

このような状況のもと、砂糖につきましては、第3四半期は暖冬の影響から、鍋需要やホット飲料向け出荷の出遅れが目立ちましたが、第1四半期において前期の消費税増税の影響が解消したことにより、第3四半期連結累計期間では業務用、家庭用とも前年を上回りました。また、当社独自製品であるきび砂糖は、消費者の嗜好に合致する商品として好調な出荷を維持しました。果糖等その他の甘味料の販売につきましても、順調に取扱高を増やしました。その結果、砂糖その他食品事業の合計の売上高は36,277百万円(前年同期比1.2%増)、セグメント利益は2,346百万円(同6.8%増)となりました。

その他の事業につきましては、ドゥ・スポーツプラザを運営する健康産業事業は、会員数が伸びたほか、エステ等の付帯営業が好調に推移し、増収増益となりました。また、冷蔵倉庫事業におきましては、畜産品および氷の取扱いが前期に引き続き好調でした。一方、港湾運送事業におきましては輸入合板等の取扱いが減少しました。その結果、合計の売上高は2,626百万円(前年同期比0.3%減)、セグメント利益は332百万円(同1.4%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は38,904百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益は2,678百万円(同6.1%増)となりました。営業外損益におきまして、台風被害による原料サトウキビの減産から新光糖業株式会社の業績が悪化したことを受け、持分法による投資利益が109百万円減少し、経常利益は2,918百万円(同1.3%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,848百万円(同44.5%増、前年同期には健康産業事業に関する会社分割に伴う特別退職金398百万円、スティックシュガー等二次製品の生産体制合理化・再構築に伴う八尾センター(大阪府八尾市)敷地の減損損失393百万円を計上)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は27,134百万円となり、前連結会計年度末に比べ635百万円増加しました。これは主に現金及び預金が1,564百万円、受取手形及び売掛金が1,709百万円それぞれ増加した一方で、有価証券(譲渡性預金)が2,210百万円減少したことによるものです。固定資産は31,485百万円となり、前連結会計年度末に比べ557百万円減少しました。これは主に有形固定資産が360百万円、投資有価証券が215百万円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、総資産は58,620百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は6,010百万円となり、前連結会計年度末に比べ688百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が482百万円減少したことによるものです。固定負債は2,894百万円となり、前連結会計年度末に比べ362百万円減少しました。これは主に引当金が185百万円減少したことによるものです。

この結果、総負債は8,905百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,051百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は49,715百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,130百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1,848百万円および剰余金の配当441百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は84.8%(前連結会計年度末比1.8ポイント増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績の進捗および第4四半期以降の業績見込みを踏まえた結果、平成27年10月30日の「平成28年3月期 第2四半期決算短信」で公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成27年4月1日に、当社を存続会社、当社の連結子会社であった日新カップ株式会社を消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、第1四半期連結会計期間より日新カップ株式会社を連結の範囲から除いています。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しています。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しています。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っています。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しています。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,398	3,963
受取手形及び売掛金	3,963	5,673
有価証券	14,100	11,890
商品及び製品	3,562	3,508
仕掛品	471	388
原材料及び貯蔵品	1,432	1,267
その他	571	444
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	26,498	27,134
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,133	8,133
その他(純額)	4,861	4,500
有形固定資産合計	12,994	12,634
無形固定資産		
	198	173
投資その他の資産		
投資有価証券	16,558	16,343
退職給付に係る資産	730	802
その他	1,648	1,612
貸倒引当金	△87	△80
投資その他の資産合計	18,849	18,677
固定資産合計	32,042	31,485
資産合計	58,541	58,620

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,854	2,372
短期借入金	1,100	1,100
未払法人税等	394	540
引当金	318	150
その他	2,031	1,846
流動負債合計	6,699	6,010
固定負債		
引当金	413	227
退職給付に係る負債	153	145
その他	2,690	2,521
固定負債合計	3,257	2,894
負債合計	9,956	8,905
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	12,020	12,020
利益剰余金	26,237	27,644
自己株式	△294	△295
株主資本合計	44,963	46,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,003	775
繰延ヘッジ損益	9	△0
土地再評価差額金	2,131	2,131
退職給付に係る調整累計額	477	439
その他の包括利益累計額合計	3,621	3,346
純資産合計	48,584	49,715
負債純資産合計	58,541	58,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	38,471	38,904
売上原価	30,899	31,058
売上総利益	7,571	7,846
販売費及び一般管理費	5,047	5,167
営業利益	2,524	2,678
営業外収益		
受取利息	12	10
受取配当金	91	79
持分法による投資利益	265	156
その他	13	17
営業外収益合計	383	262
営業外費用		
支払利息	9	9
支払手数料	6	6
為替差損	5	—
その他	4	6
営業外費用合計	26	23
経常利益	2,881	2,918
特別損失		
固定資産除却損	25	166
減損損失	393	—
特別退職金	398	—
特別損失合計	816	166
税金等調整前四半期純利益	2,064	2,752
法人税等	785	903
四半期純利益	1,279	1,848
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,279	1,848

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	1,279	1,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	250	△227
繰延ヘッジ損益	12	△9
退職給付に係る調整額	△8	△38
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△0
その他の包括利益合計	263	△275
四半期包括利益	1,542	1,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,542	1,573
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

株式分割

当社は、平成28年2月2日開催の取締役会において、株式分割を行うことを決議しました。

1. 株式分割の目的

株式分割を実施し、当社株式の投資単位あたりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性向上と投資家層の拡大を図ることを目的としています。

2. 株式分割の概要

(1) 株式分割の方法

平成28年2月29日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき3株の割合をもって分割します。

(2) 株式分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	7,557,961株
今回の株式分割により増加する株式数	15,115,922株
株式分割後の発行済株式総数	22,673,883株
株式分割後の発行可能株式総数	90,000,000株

(3) 株式分割の日程

基準日公告日	平成28年2月12日
基準日	平成28年2月29日
効力発生日	平成28年3月1日

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
1株当たり四半期純利益	57円93銭	83円71銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。